



【現生との最後の別れ、これで、土に戻り、無となるのか】

マニラから車で約4時間、今回はケソン州にある発電所を訪問した。  
この道中で撮影したのが今回の写真である。

走行中、葬儀の列に、出くわすことが多い。

今回、この列が、丁度、墓地に入っていたので、下車して、これを追ってみた。

そこには、すでに、埋葬用に穴が掘られ、棺(ひつぎ)を降ろせるように専用の枠組みとハンドル付きの昇降装置が準備されていた。

最後の別れ。

ガラス越しに、棺のなかの故人に向かって話しかけながらのすすり泣きが響きわたる。

そこで、参列者が手に手にもっていた白い風船が一斉に放たれた。

そして、若者が棺を持ち上げる。

棺は、枠の中に納まり、ゆっくりと降りていく。

棺の上に、投げられる花、花、花、そして、土がかぶされていく。

空を見上げれば、白い風船が点になり消えていく。